

ただいま2015年・平成27年第1回定例会が閉会しました。

この定例会は、私たち議員にとって任期中最後の定例会です。勇退される議員にとっては、議員生活最後の定例会となりました。中村市政にとっては、新体制と予算が決まり、本格的な一歩を踏み出せる議会となりました。私は議長として最後の定例会の議事進行を務めることができました。

そこで、執行部の皆さん、ならびに議員の皆さん、そして市民の皆さんに一言お礼の言葉を述べさせていただきます。

2011年5月17日の初議会で私は議長に就任さ

せていただきました。今日までの3年10ヶ月、通常の議会運営はもとより、様々な議会改革を推進するにあたり議員の皆さん、執行部の皆さんには多大なるご協力をいただきました。ここに改めて心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

この4年間には大きな変化がありました。

1年間の慎重審議を経て、2012年6月議会から本会議のインターネット中継・録画の配信を開始しました。そしてこの3月議会から、予算審査特別委員会の中継・録画の配信も始めました。

2年間の慎重審議と8ヶ月の準備討議を経て、2014年4月1日に議会基本条例を施行させることができ

ました。その具体化として、その年の7月に3ヶ所で議会報告会を開催しました。

また政策推進会議役員会を立ち上げ、古賀市議会災害対応要綱並びに災害時議員行動マニュアルをまとめ、本日の全員協議会で策定する運びとなりました。

市議会にふさわしい議会運営並びに議会基本条例に伴う自由討議の規程等を盛り込むために、2014年3月に会議規則を全面改正しました。補正予算も含む全議案の原則委員会付託や大綱質疑、討論など発言の通告制をその年の3月から導入しました。さらに、議会全員協議会、政策推進会議、委員長協議会等を協議の場として正式に位置づけました。

2014年2月に、政務活動費条例を改正しました。古賀市議会では使徒範囲を拡大せず、あくまで調査研究活動に絞りました。政務活動費の収支報告書をインターネットで公表しましたが、2014年度分については収支報告書、調査報告書、領収書の全てを公表することにしています。

議場には大型モニターが設置され音響施設も更新されました。2014年6月議会から押しボタン式表决システムを導入しました。議場の大きな改修には竹下前市長にお世話になりましたが、この場をお借りし改めて感謝します。

議案に対する対応では、第4次総合振興計画に対する

議会としての6点の提言、海外視察費や保育所関連予算の減額修正や付帯決議の経験もありました。議員提案による深夜花火規制条例も制定しました。特定用途制限地域の建築条例では難しい選択もありました。

古賀市議会の議会だよりは議員自らが編集し、多くの視察がありました。今回の定例会で、議会報編集特別委員会を常任委員会とする委員会条例を賛成全員で可決することができました。

新たな取り組みとして、青少年育成市民会議による小中学生の作文発表会が2014年から議場で行われました。議会が、より身近に感じていただける機会となりました。

昨年10月には、中部10市議会議長会議員研修会を古賀市が担当しました。約200人の参加のもと、地方公共交通問題について学ぶことができました。

今年2月24日には、福岡女学院看護大学とパートナーシップ協定を締結し、松尾和枝教授に健康寿命延伸について記念講演をこの議場で行っていただきました。

今年1月に正副議長、議運の正副委員長で市長に対し議会事務局の体制強化を求める要望書を提出しました。中村市長はこれに対し前向きに応えていただきました。

梅谷前議会事務局長、清水現局長はじめ議会事務局の職員の皆さんには大変お世話になりました。通常の事務に加え、議会基本条例など新たな取り組みをしっかりと支

えていただきました。心より感謝します。

この期間に、日経新聞社による2013年議会改革度ランキング結果が発表されました。古賀市議会は、全国46位(前年度340位)、福岡県では1位と評価されました。これは大変嬉しい評価ですが、基礎工事の目処が立ったに過ぎません。これからが本番と言えます。

以上、この4年間を振り返ってみました。

議員19人が時間をかけてよく議論しました。そして、結論を出したことは議員が一丸となつて一緒に汗を流しました。これまでに4人が議員を辞職し現在15人です。しかし、古賀市議会の現状は19人全員がいて実現できました。まさに「チーム議会」の成果です。

この4年間を「チーム議会」の一員として活動できたことを嬉しく思い、また誇りと感じます。

来期は、この4年間の改革の成果を踏まえ、さらに開かれた、活発な議会へと歩みを進めていくことが新たな目標となると思います。

今後は、自治基本条例、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定、新たな介護保険制度の開始、少子高齢化対策など重要政策に次々と直面する場面が到来します。

議会、議員が二元代表制の一翼としてその役割を発揮し、市民の信頼を得られるよう頑張っていかなければなりません。

現在の15人は、議員の道を再度目指す人もいれば、



勇退する方もいます。しかし、この4年間をともに経験したことを決して忘れず、今後も末永くお付き合いしていただきませうお願いします。

結びになります。3月末をもって勇退される荒木隆教育長に心よりお礼を申し上げます。「教育は人だ」という教育長の理念は、今後も市内の小中学校に、そして子どもたちの中にしっかり引き継がれると確信しています。また、退職されるすべての職員の皆さんに議会を代表して感謝の気持ちを表します。

以上をもちまして任期最後の定例会閉会にあたっての挨拶とします。ありがとうございました。

2015年3月24日 古賀市議会議長 奴間健司